

厚生労働省障害福祉課
全国社会福祉協議会
全国身体障害者施設協議会
熊本県身体障害児者施設協議会
熊本県障がい者支援課
熊本市障害保健福祉課

御中

熊本県身体障害児者施設協議会
会長 三浦 貴子
(愛隣館)

熊本地震における支援等の状況報告について（9号）

4月27日水曜日の報告をします。

支援協力頂いたのは、福岡県慈久園の池崎さん・松尾さん、菊池園の酒井さん・井上さんです。東北ブロックからの支援物資が、仙台ありのまま舎のとりまとめにより、遠路4tトラックで届き、無事収蔵しました。心から感謝致します。また、昨日は、この地域社協と区長会が行う炊き出し（熊本市避難所2カ所）へ米を一部提供しました。

- ① 今日は地域支援参加希望者6名で、朝5時半に出発、ベトナム育英会秀島氏（東北の震災の時、九障協の物資を仙台へ運んだ人）と連携して、「益城町役場」向かいで、アルファ米とけんちん汁の朝ごはん炊き出しを行いました。すぐに被災者の方々の長蛇の列となり、約300食が1時間足らずで無くなりました。添えた缶詰類も大変喜ばれました。
- ② そのタイミングで県から電話があり、最も被災している益城町の避難所から障害のある方々を訪問調査し、必要に応じて福祉避難所へお願いしたいとのご相談でした。
- ③ 倉庫のような場所に避難する方々（障害者複数・高齢者多数）約30名を訪ねました。支え合って暮らされていますが、「入浴の願い」と「近くに福祉避難所はありますか?」との声を伺いました。透析をされている車イス利用の高齢者ご夫婦と身体障害のある娘さんの家族が気になります。家が気になるとのことで、連絡先を残しました。
- ④ 広安西小学校の避難所（約1000名）は、自衛隊が常駐する大規模なものでした。個々のスペースは毛布一枚分程度で、間仕切りが間に合っていません。身体障害がある被災者の方のリハを、JRAT（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）の方が実施されていました。多様な分野で県外からの支援が早期に入り、県民は感謝しています。医師も常駐で所内は整頓され、たくさんの方々が掃除をしていました。しかし、プライバシーを望む若年層は、校庭で車中泊の人々が多いとのこと。
- ⑤ たまきな荘より物資の受け取りに来られました。福祉避難所としての受け入れ準備と機能強化をしておられます。
- ⑥ 阿蘇のたちばな園では、支援と自衛隊の給水により、危機を乗り越えてきました。給水をバケツリレーで毎日運び（男性スタッフ総出で休みなく）頑張ってこられたそうです。

住宅の3分の2が倒壊した益城町に入り、改めて復旧までの遠い道のりを一緒に歩かなければと思いました。深い傷を負っています。これからもどうぞよろしく申し上げます。

(連絡先) 障害者支援施設愛隣館
TEL : 0968-43-2771
FAX : 0968-43-2793